

(別表2)

評価項目及び配点表

	評価項目	提案に求める内容	配点	最大得点	
総合評価で求める項目	A) 実績評価	(別表1)による		14.0	
	B) 実施設計段階の実施方針に関する提案	実施設計段階において実施、実現できる効果的で具体的な取組みを提案すること。 以下①～④のテーマについて提案すること。			20.0
		①ECI発注のメリットを活かせる体制について(霧島市、CMr、設計者、医療コンサルと円滑にコミュニケーションを図る手法を含む)	+/4.0 普/2.0 -/0.0		
		②技術協力者として病院特有の設計品質を確保するための取組及び効率的な施工方法を提案する取組について	+/4.0 普/2.0 -/0.0		
		③実施設計のコスト増加を抑制できるコストコントロール方法について	+/4.0 普/2.0 -/0.0		
		④基本設計を改善できる提案について(提案項目は、2つ以上とすること)	++/8.0 +/6.0 普/4.0 -/0.0		
	C) 施工段階の実施方針に関する提案	施工段階において実施、実現できる効果的で具体的な取組みを提案すること。 以下①～⑤のテーマについて提案すること。			22.0
		①工事ステップ毎の病院運営に有効な仮設計画(工事中における病院用駐車台数確保及び有効な救急、患者、サービス動線を含む)や、既設病院に対するインフラのノダウン化、騒音、振動、安全対策等への配慮について(別紙7及び発注図(工事手順図)を参照し提案すること)	+/6.0 普/3.0 -/0.0		
		②工事中のコスト増加を抑制できるコストコントロール方法について	+/4.0 普/2.0 -/0.0		
		③施工を円滑に進めるために行う発注者、関係者及び市民へのコミュニケーション方法について	+/4.0 普/2.0 -/0.0		
④品質を確保するための手法について(構造、防水等の品質及び病院特有の品質)		+/4.0 普/2.0 -/0.0			
	⑤竣工後の建物品質を維持するための提案について	+/4.0 普/2.0 -/0.0			
D) 工期短縮の提案	4週8休を原則とし品質を確保した上で工期短縮を図れる方法について実施、実現できる効果的で具体的な取組みと、その短縮工期の工程表を作成し提案すること。(取組みは複数でも可。) なお、工期を短縮した場合でもVE提案採用後概算工事費見積書からの増減はないものとする。 また工程表は、交付するマスタースケジュールと比較し、ポイントについて分かりやすく説明すること。	3か月以上短縮でき効果的で実現性が高い 2か月以上短縮でき効果的で実現性が高い 1か月以上短縮でき効果的で実現性が高い 工期短縮ができない	4.0 2.0 1.0 0.0	4.0	
E) 霧島市内事業者の活用に関する提案	霧島市内事業者の活用について、実施、実現できる効果的で具体的な取組みとして、以下①～③のテーマについて提案すること。 ①1次～3次下請工事の発注など、市内建設業者を積極的に活用する手法について ②市内企業からの建材資材、日用品等を調達する手法について ③霧島市内事業者の活用を履行確認するための有効なモニタリング手法について ※市内建設業者とは、霧島市内に本店、支店及び営業所を有する企業をいう。 ※市内企業とは、霧島市内に本店、支店及び営業所を有する企業をいう。	+/4.0 普/2.0 -/0.0		4.0	
	①、②の地元貢献の提案について、具体的な経済効果額(消費税込)をそれぞれ集計して、分かり易く記述すること。(VE提案採用後の経済効果額とすること。) ※①の算出についての条件は以下のとおりとする ・F)参加者の企業形態評価における市内建設業者とJVでの参加による出資額は算入できない。 ・市内建設業者のうち、本店との契約分は全て算入して良いが、支店及び営業所との契約分の算入は合計15億円を限度額とする。 <市内建設業者分の計算例> ・本店との契約合計20億円→20億円算入可・・・a ・支店・営業所との契約合計20億円→限度額の15億円算入可・・・b よって市内建設業者分の経済効果額=a+b=35億円	経済効果額(消費税込)が40億円以上 経済効果額(消費税込)が35億円以上 経済効果額(消費税込)が30億円以上 経済効果額(消費税込)が25億円以上 経済効果額(消費税込)が20億円以上 経済効果額(消費税込)が20億円を下回る	5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0	5.0	
F) 参加者の企業形態評価	市内建設業者とJVによる参加である	3者のJVによる参加である 2者のJVによる参加である 単体による参加である	1 0.5 0	1.0	
G) 価格	評価は、VE提案採用後提案見積金額で行う 参考価格に対し、100%を超える見積額は無効とする 参考価格に対し、85%を限度に最大30点とする		0～30.0	30.0	
総合評価点合計				100.0	